

議決権行使レポート

証券コード 9068

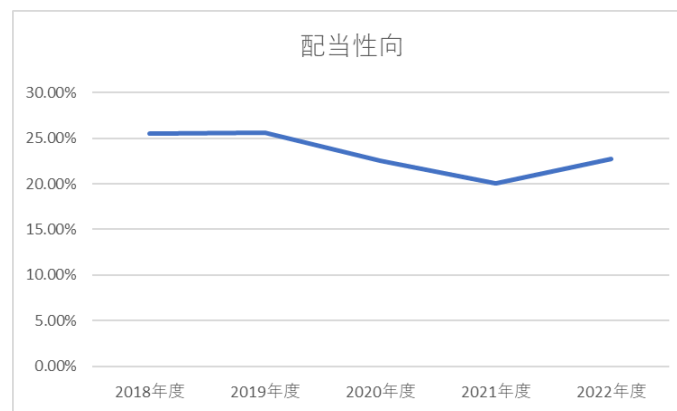
会社名 丸全昭和運輸

	賛成	反対	棄権
第1号議案 剰余金の処分の件	○		
第2号議案 取締役（監査等委員である 取締役を除く。）5名選任の件	○		
浅井 俊之氏	○		
岡田 廣次氏	○		
中村 匡宏氏	○		
安藤 雄一氏	○		
石川 健一氏	○		
第3号議案 当社株式等の大規模買付行 為に関する対応策（買収防衛策）の継続 の件	○		
...			

上記の推奨をした理由

第一号議案について

本案が可決されると年間配当金は、中間配当とあわせて前期と比較して15円の増配である100円となる。また、丸全昭和運輸の配当性向は過去5年ほど約20~25%で安定して推移しているものの、昨年度より2.6%増の22.7%となっている。よって株主への利益還元が多くなされる結果となるため、第一号議案に賛成する。



第二号議案について

【ご参考】のページを見ると、スキルマトリックスについて1分野に最低一人ずつ存在し、能力面において全体として問題の無い人選であると言える。また、候補者の5名とも長年丸全昭和運輸に勤めており、取締役としての経験も豊富であることから、取締役として選任することは妥当であると考えた。よって、第二号議案に賛成する。

第3号議案について

買収防衛策についての判断に当たり、アセットマネジメント one の議決権行使基準を参考とすると、丸全昭和運輸は、「社外取締役の構成比率が1/2以下の場合」にあてはまり、反対をとることになる。しかし、Ⅲの部分を見ると、買収防衛策の発動において、株主や監査のチェックに対する規定が細かく定められており、期限も約三年後と明示されているため、私はこの決議が経営者の保身に利用される可能性は低いと考えた。よって私は第3号議案に賛成する。